

質問回答書

2022年10月28日

「インド国ミゾラム州生物多様性保全・森林整備事業準備調査【有償勘定技術支援】(QCBS)」

(公示日:2022年10月19日/公示番号:22a00635)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	第2章 特記仕様書 第7条 業務の内容 二次現地調査 (10)事業効果:23ページ 第3章 プロポーザル作成に係る留意事項 2. 業務実施上の条件 (2)業務量目途と業務従事者構成案:31ページ	31 ページの 2)業務従事者構成案にて、④経済財務分析とあるが、23 ページの事業効果の内容では経済便益面の検討を行うこととなっており、財務的内部収益率(FIRR)等財務面の検討については記述がない。 本調査において、生産者団体の財務状況の確認・資金管理方法の検討等は行うが、実施者が料金収入を得るサブプロジェクトを事業対象としない限り、FIRR 等財務面での事業評価は不要と考えてよいか。	ご理解の通り、本事業においては FIRR 等財務面での事業評価は不要であり、本調査でも求めません。
2	12 ページ 第6条 実施方針及び留意事項 (7)事業成果向上のための日印の研究機関・民間企業等との協力の検討 タミルナドゥ森林局とのパイロット研究	本調査ではタミルナドゥ森林局とのパイロット研究が計画されており、内容は協議中とのことであり、国内再委託が想定されている。その内容および国内再委託先について、情報を開示してもらうことは可能か。	タミル・ナドゥ州森林局は 2021 年度に円借款契約を調印した事業「タミル・ナドゥ州気候変動対策生物多様性保全・緑化事業」の活動の改善に繋がる森林・生物多様性保全や生態系サービス活用に関する研究内容での協力を広く想定しています。インド側の研究者の選定は同州森林局にて今後進めますが、日本側の研究者については日本からの提案を歓迎する姿勢です。 国内再委託先については未確定ですが、発注者・受注者で相談しつつ、弊機構の『コンサルタン

			ト等契約における現地再委託契約ガイドライン』を国内再委託契約へ準用することとなっておりますので(P.8 第3項に記載のとおり)、当該ガイドラインに沿った選定をお願いいたします。
3	P24 第三次現地調査 生物多様性保全・森林整備に係る現地セミナーについて	第三次現地調査に、生物多様性保全・森林整備に係る現地セミナーが計画されている。調査団は、事前準備(招待者・登壇者のリストアップ、プログラム案作成、登壇者との調整、会場の手配等)及び開催を行うが、招待者・登壇者はミゾラム内の参加者のみという理解でよいか。招待者の交通費や滞在費も本調査で支払い、見積もりに含める必要があるか。	招待者は主にミゾラム州政府関係者を想定しています。登壇者は中央政府や他州の森林局関係者(5名程度、対面参加)、及び、日本の有識者等(オンライン参加)を想定しております。セミナー開催経費や登壇者の旅費・謝金については見積もりに含めてください。
4	P34. 4. (2)別見積もりについて、(6)旅費(航空賃)について	「旅費(航空賃)」は本見積もりでしょうか、別見積もりでしょうか。	本見積もりにて計上をお願いします。
5	P.31 2. (3)再委託 P35. 4. (3)定額計上について	「パイロット研究に係る経費」7百万円(定額計上)は本見積もりでしょうか。	本見積もりにて計上をお願いします。
6	P.24 及び 25, 第7条 第三次国内作業, 第三次現地調査	現地セミナーの経費について、本見積もりの提案事項と理解しました。一方、実施場所、参加者、参加方法などにより予算規模が大きく異なっております。もし積算上の方針がございましたらお教えください。	実施場所についてはアイゾールを想定しております。それ以外の方針については質問3への回答を参照願います。

以上